

# ゼミ活だより

2024年9月Vol.7

## ハッピーフリマ子飼を開催しました！



東子飼公園でのフリーマーケット実施。商店街の主催イベントですが、碩台地区の自治会のみなさんとゼミ生たちが共同で運営を担いました。

2024年9月7日、通常であれば子飼百円笑店街のある9月の第1土曜日ですが、今回は同日夜に日夜祭（提灯イルミネーション）も開催。いつになく大きなイベントが予定されていました。以前より商店街からは、留学生を含む学生が商店街・地域の人と交流できるイベントをやりたいとのリクエストがありましたので、この日にあわせて、商店街近くの東子飼公園で、学生・地域住民・外国人が参加するフリーマーケット「ハッピーフリマ子飼」を実施することになり、ゼミ生たちがその企画運営をお手伝いすることになりました。春から作業を進めるも、商店街や地域の方々の思いの実現には障壁も多く、6月にも百円笑店街があったためフリマの準備が後回しになり、ようやくフリマ準備に動き出したら、そもそも実施日が夏季休暇中で学生の出店者が思うように集まらず、なのに教授には無茶振りばかりされる...きっとゼミ生たちは大変な思いをしたと思います。

挑戦には失敗がつきもの。逆に私の指示通りにしか学生が動かない活動に、教育的意味は（あまり）ないと私は考えます。今回のゼミ生たちを振り返ってみると、彼女・彼らなりに自分のできることを自分なりに考え、悩みながら動いていました。私からすれば、それこそが望んでいた姿であり、ひとまずそれで良いのです。

もちろん、残念ながら失敗した点もありますし、反省点・修正すべき点は多々ありますが、学生たちのこれから先の人生の中で、今回の経験は、失敗も成功も、座学で得た知識とは異なる意味を持つでしょう。

学生たちが、このイベントを通じ、多様な他者との関係の中で自分でつかったことをどう受け止め、どう成長し、どう社会に還元していくのか、とても楽しみです。



ゼミ生以外でも学生団体A.S.の新宅彩加さんには留学生への呼びかけ等にご協力いただきましたし、出店・出品してくれた熊大関係者、子どもたちを楽しませたボランティア実践の学生たち、そして子飼商店街のみなさんと自治会のご協力で、この非日常の時間は楽しいものになりました。

子飼商店街という不思議な商店街は、周りの人々たちを繋げ楽しませる不思議な力の源であるように私には思えます。

### 編集後記

ハッピーフリマ子飼についても、Instagramでゼミ生たちが若者らしい投稿でしっかり宣伝してくれました。アカウントは takagiseminar\_2022 です！[高木康衣（法学部教授）]

